

ひとつひとつの事業をチェックした結果、どのような成果があったの？

白熱した議論が行われた平成27年度の「秋のレビュー」。
その具体的な成果を見てみよう。



事業の改善等につなげたものの例



【全国学力・学習状況調査】

- 全ての小学校6年生と中学校3年生を対象に行われている全国学力・学習状況調査の結果について十分に開示されておらず、教育の改善に繋がっていない現状について議論。
→可能な限り、広く研究に活用できるよう検討することになった。



【使用済核燃料運搬船「開栄丸」】

- 使用済核燃料運搬船「開栄丸」については、ほとんど使用していないにもかかわらず、使用を前提とした契約内容に基づき維持管理費等が12億円も支出され続けていることについて議論。
→「開栄丸」については使用を終了し、終了に伴い必要となる費用の最小化等に取り組むことになった。



【オリンピック・パラリンピックフラワー】

- 盛夏期に開催される2020年東京オリンピック・パラリンピック大会向け、夏でも国産花きを安定供給できる体制を整える必要があるとして、約1億円の予算要求をしていた事業について、公的支援の必要性等を議論。
→平成27年度限りで同事業を廃止することになった。



秋のレビューで指摘を受け
概算要求から減額した金額

1,000 億円程度

公益法人等向け基金について検証し、
余剰資金を国庫返納
(平成27年度、28年度予定額)

5,000 億円程度